

平成29年1月～3月期  
地域産業経営動向調査  
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関  
堺商工会議所 〕

## 調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成29年3月15日（水）～平成29年3月31日（金）
4. 回収率

	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	102社	51.0%
製造業	200社	107社	53.5%
卸売業	100社	56社	56.0%
小売業	100社	51社	51.0%
サービス業	200社	101社	50.5%
全産業	800社	417社	52.1%

### 【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

### 【各項目別のD I値の意味について】

- 業況判断 … D I値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。  
⇒今期状況 … D I値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。  
⇒今期状況 … D I値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

# 調査結果の概観

今期(1月～3月期)の前年同期比を見ると、業況判断及び売上高は3期連続の改善傾向であったが、採算及び資金繰りはやや悪化、雇用人員は悪化した。

来期(4月～6月期)の予測については、業況判断及び雇用人員は改善、売上高はやや改善となっている。一方で、採算は横ばい、資金繰りは悪化となっており、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要がある。

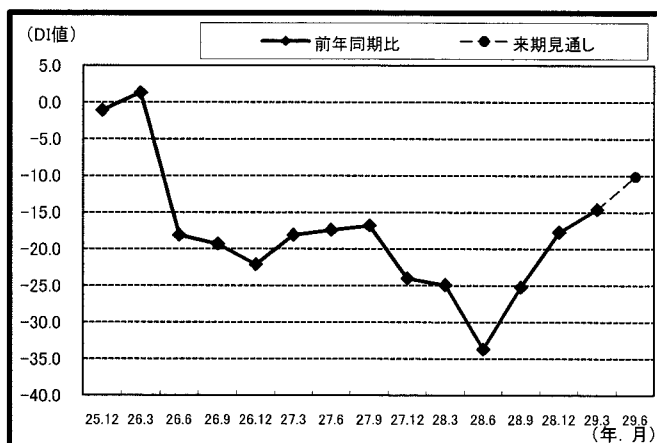
## 1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は3期連続で改善。  
( $\Delta 17.7 \Rightarrow \Delta 14.6$ )

・来期見通しの指標は改善と予測。  
( $\Delta 14.6 \Rightarrow \Delta 10.1$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は横ばい。製造業は改善。卸売業は悪化。小売業は2期連続で改善。サービス業は3期連続で改善傾向。

・前年同期比の指標は3期連続で改善。



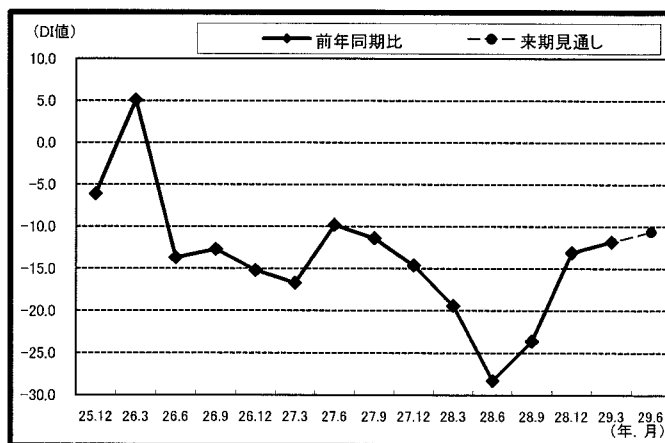
## 2. 売上高の動向

・前年同期比の指標はやや改善し、改善傾向は3期連続。( $\Delta 13.1 \Rightarrow \Delta 11.8$ )

・来期見通しの指標はやや改善と予測。  
( $\Delta 11.8 \Rightarrow \Delta 10.6$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、卸売業、小売業は悪化。製造業は3期連続で改善。サービス業は2期連続で改善傾向。

・前年同期比の指標はやや改善し、改善傾向は3期連続。



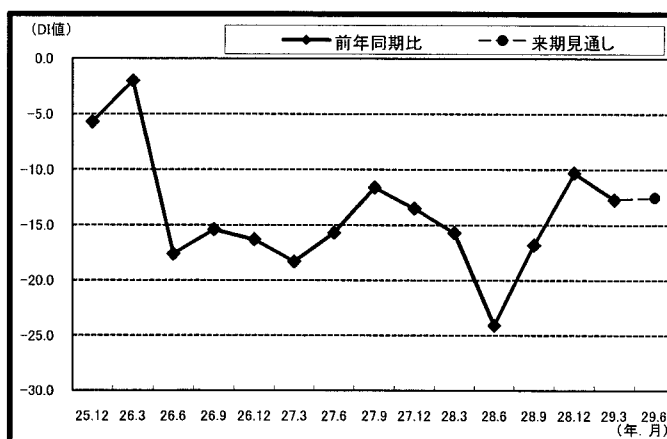
## 3. 採算の動向

・前年同期比の指標はやや悪化。  
( $\Delta 10.3 \Rightarrow \Delta 12.7$ )

・来期見通しの指標は横ばいと予測。  
( $\Delta 12.7 \Rightarrow \Delta 12.5$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業、卸売業は悪化。製造業は横ばい。小売業はやや悪化。サービス業は3期連続で改善傾向。

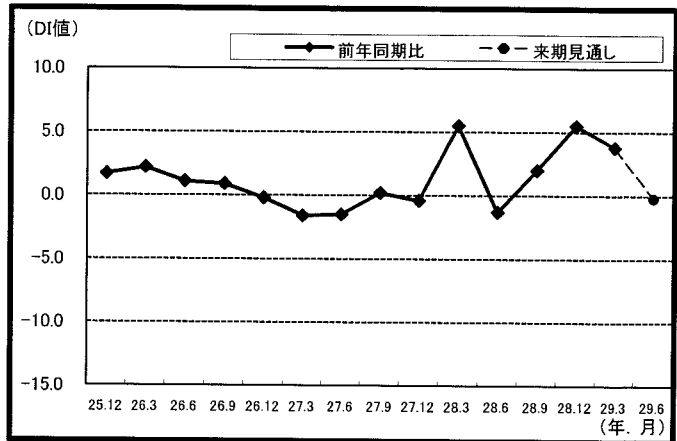
・前年同期比の指標はやや悪化。



#### 4. 資金繰りの動向

- ・前年同期比の指標はやや悪化。  
(5.5⇒3.8)
- ・来期見通しの指標は悪化と予測。  
(3.8⇒△0.2)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は2期連続で悪化。製造業、卸売業は横ばい。小売業はやや悪化。サービス業は3期連続で改善傾向。

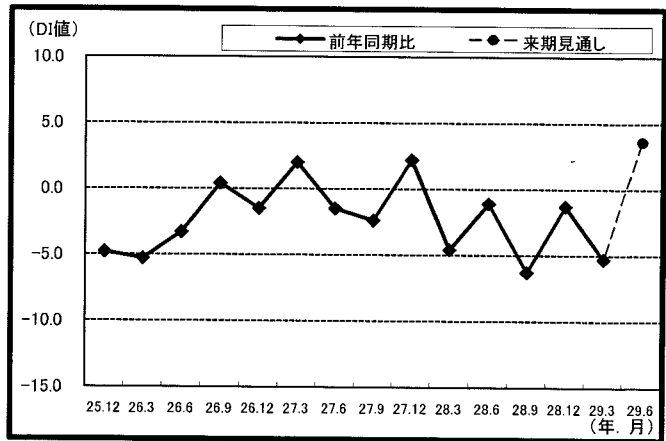
・前年同期比の指標はやや悪化。



#### 5. 雇用人員の動向

- ・前年同期比の指標は悪化。  
(△1.3⇒△5.3)
- ・来期見通しの指標は改善と予測。  
(△5.3⇒3.6)
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は2期連続で改善。製造業、小売業及びサービス業は悪化。卸売業は3期連続で悪化傾向。

・前年同期比の指標は悪化。



#### 来期見通し

平成28年4月～6月期と比較した平成29年4月～6月期の見通しは、業況判断及び雇用人員は改善、売上高はやや改善、採算は横ばい、資金繰りについては悪化となっている。